



かどわきっ子

心を見つめる 教育週間



今週28日(日)まで「かどわきっ子の心を見つめる教育週間」です。

23日(火)は、授業参観・学級部会、学校保健委員会主催の子育て講演会に多くの方に御出席いただきました。ありがとうございました。

子育てに関する講演を聞いたり、本などを読んだりすると、自身の子育てを思い出し、いつも反省しきりです。もっとこうしておけばよかった。こんな言葉掛けをすればよかった。そんな後悔にも似た思いがいつもあります。子育て現役世代には、私のような思いをしてほしくない。そんな思いで、皆さんにはお話をし、この学校だよりも書いています。

講演内容については、お聞きになった方それぞれが、いろんな思いを抱えて帰路につかれたことでしょう。帰宅して御家族との話題の一つにされた方もいらっしゃるでしょう。感じ方は、一人一人違います。その後の行動も違います。しかし、「わが子に幸せになってほしい。幸せな人生を送ってほしい。」という親としての思いだけは共通しています。

学校は、これからも子どもたち一人一人の笑顔(幸せ)を目指して、全力を尽くします。明日26日(金)は、学校支援会議を予定しています。地域の方の声もお聞きしながら、「**関わり合いながら進んで学ぶ、人間性豊かなかどわきっ子**」を目指していきます。

浦川末子先生、遠路お越しいただき、ありがとうございました。

社会科見学

先日、被爆体験講話をしていただき、その2日後には4年生が長崎へ平和学習に出掛けました。行きのバスの中では、「青い空は」や「折り鶴」などを歌ったりゲームをしたりして、車酔いの児童が出ないように工夫していました。

平和公園へ着くと、ミニ集会をしました。代表の児童が挨拶をしたり、全校児童で折った千羽



鶴を供えたりしました。集会を近くで御覧になっていた海外からのお客様が、「とても素晴らしい歌声ですね。」と声を掛けてくださいました。嬉しく思うとともに、この歌声が世界の平和につながってほしいと思いました。

4年生は、今回の学びを8月9日の平和集会で発表します。10歳なりに感じたこと・考えたことを一生懸命に伝えてくれるはずです。年齢を重ねると、違った見え方がします。場所が変わると、違った歴史があります。いくつになっても、どこに住んでいても戦争や平和について考える。そんな芽が育ってくれればと願ってやみません。

代表委員会

少し前になりますが、5月の代表委員会では、「よりよい学校にしよう」という議題のもと、①「キラキラ輝くかどわきっ子」になるために、どんなことができるようになりたいか、②「学校メディア宣言」について話し合いをしました。

「キラキラ輝くかどわきっ子」になるためには、「**ふわふわ言葉を使って、だれにでもやさしくしよう**」と決まりました。

「学校メディア宣言」については、「**メディアは、1～3年生は60分、4～6年生は90分**」と「**ねる1時間前にはやめよう**」の二つが決まりました。

今年度のチャレンジ、やさしくのアップのための「言葉遣い、心遣い」たくましくのアップのための「睡眠」に関わる素晴らしい話し合いができたと思います。自分たちが話し合って決めたことをどれだけ意識できるか、各学級で定期的に振り返りをさせながら高めていきたいと思っています。御家庭での声掛けにも生かしていただけたらと思います。

以前、ある塾の先生が、こんなことを言っていました。「**成績が伸びる子＝やめることができる子である**」と。自分がしたいことや遊び、ゲームやYouTubeなど、「ここまでやったらやめる」、「何時になったらやめる」というように、自分でゴールを決めてそれを守ることができるお子さんだそうです。

つまりは、「自らを律することができる子」ということでしょう。毎日の行動を意識することが、成績アップにもつながるんですね。